科目名	社会福祉と法　　Social Welfare and Law						
科目担当者	矢鋪 渉　　YASHIKI Wataru						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部法律学科［専門教育科目　専門科目］ 経営学部経営学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	社会福祉は、日常生活において困難なところがある人々（生活困窮者、高齢者、障害者等）に対する公的な支援の仕組みです。社会福祉の内容は、国の経済発展、財政状況、国民の生活水準、家族観などの考え方の推移に伴い変化します。 講義では、社会保障制度と社会福祉の意義や歴史的展開、方法などを概観し、その上で、日本における具体的な社会福祉制度について解説します。						
授業の到達目標	①　社会保障制度と社会福祉の意義について理解し、説明できること。 ②　社会福祉制度の展開について理解し、説明できること。 ③　社会福祉制度の基本構造および各制度の特徴について理解し、説明できること。 ④　社会福祉関連の報道ニュースに接したとき、問題の箇所が推測できるようになること。						

授業計画・内容		
	1	社会保障・社会福祉ガイダンス。両者の意義。
	2	医療保険
	3	介護保険制度
	4	年金制度
	5	労働保険―労災保険、雇用保険
	6	民間保険と社会保険
	7	社会福祉
	8	児童福祉
	9	障害者福祉
	10	高齢者福祉
	11	社会手当
	12	生活保護
	13	権利擁護と成年後見制度
	14	少子高齢社会における社会保障の課題
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	・復習として、教科書の該当箇所を読む（毎週 30 分程度）。 ・福祉関連情報をチェックする。（毎週 30 分程度）。
授業外学修 (事後学修)	・教科書、配布資料を見直し、理解を深める。 ・授業で紹介した参考文献等を参照し、社会福祉に関する理解を深くする（10 時間程度）。 ・小テストやレポート課題に取り組む（60 分程度）。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	・小テスト ・レポート課題	・40% ・60%	①　・②・③ ③　・④

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	古橋エツ子編『新・初めての社会福保障論』法律文化社、2024 （ISBN978-4-589-04173-9）
参考文献	講義中に紹介します
その他	